

取扱説明書

COMPACTGAUGE52

OBD STEPPING GAUGE

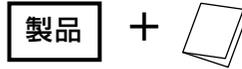
3連メーター

(ブースト計 + 水温計 + 電圧計)

CB3

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意1
 特長1
 各部の名称と表示範囲2
 配線接続方法2
 製品の固定3
 基本操作方法3
 故障かな?と思ったら4

内容物をご確認ください



1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。
2. 故障診断コネクタを利用する他社の製品とは併用できません。
3. PIVOT製OBD装着製品の併用についての詳細は、こちらをご確認ください。 ⇒ <https://pivotjp.com/obd/>
4. 本製品は複数の品番を同時装着することはできません。

警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に行う
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

視界を妨げない、コンパクトな存在感。

COMPACT GAUGE52は、直径52mmの小型メーターを低く設置することで、できるだけ視界を妨げずに正確なエンジン情報をチェックすることができます。

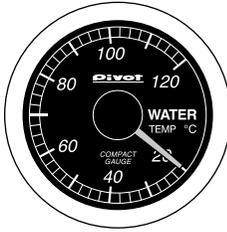
- 装着が簡単なOBDコネクタ接続。
- 視界を妨げない高さ。
- 高級感を際立たせるブラックチタンベゼル。
- アイドリングストップからの始動時はデモのないスムーズ動作。

各部の名称と表示範囲



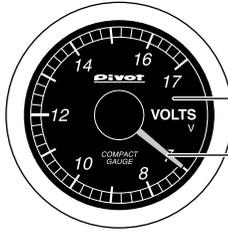
ブースト計

表示範囲: -100~154 kPa



水温計

表示範囲: 20~120 °C



電圧計

表示範囲: 7~17 V

【メーター】

- 1** 表示部 各データを表示します
- 2** 針 現在の数値を指します
- 3** イルミ 表示中イルミは常時点灯 (文字: 白、針: 赤)

【ユニット】

(メーター接続側)

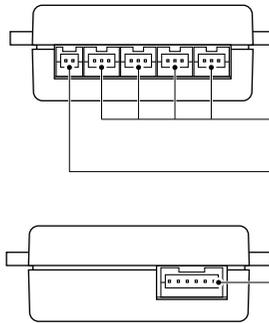
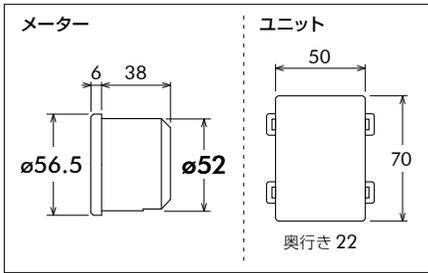
- 4** メーター用コネクタ メーターケーブルを接続します

- 5** 予備 使用しません

(車輦接続側)

- 6** 電源用コネクタ OBDコードを接続します

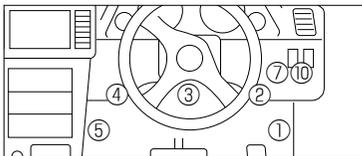
サイズ [単位:mm]



配線接続方法

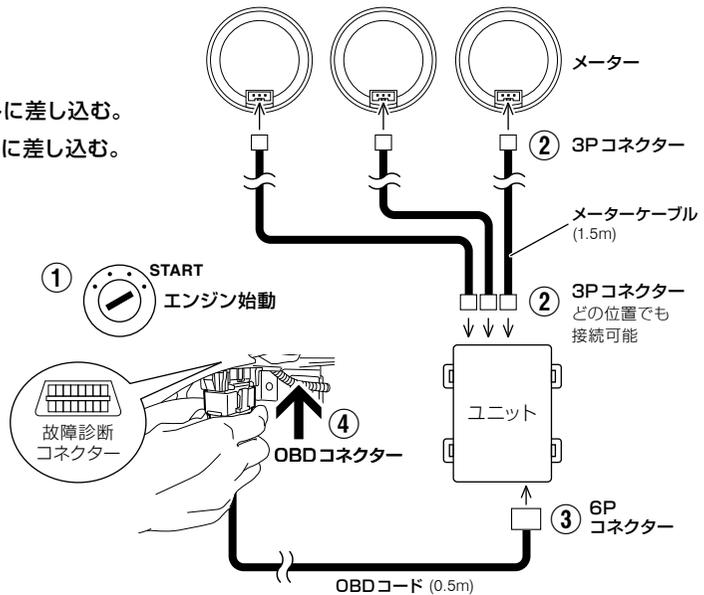
- ① エンジンを始動する。
- ② メーターケーブルの3Pコネクタを各メーター背面とユニットに差し込む。
- ③ OBDコードの6Pコネクタをユニットに差し込む。
- ④ OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。

故障診断コネクタ位置図



トヨタ ②③④	マツダ ②④⑩
日産 ②③④⑦⑩	スバル ①②③④
ホンダ ②④	スズキ ②③④
三菱 ④⑤	ダイハツ ②③④

- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側 (フタ付の場合あり)
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑦ ステアリング脇パネル裏 (フタ付)
- ⑩ ステアリング右パネル (小物入れ上部)



OBDコネクタ取扱時の注意点

<p>差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。</p>	<p>注意</p> <p>コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。</p>	<p>凸部を握れない場合</p> <p>車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。</p>	<p>その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。</p>
-----------------------------------	---	--	--

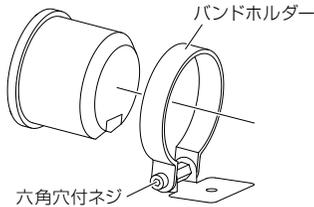
製品の固定

メーターの固定

バンドホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

- 1** ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。

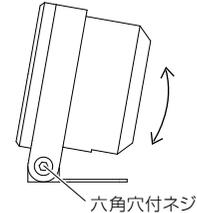


- 2** 両面テープで固定する。

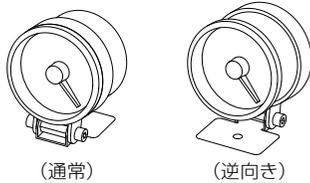


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

- 3** 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。

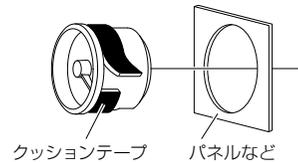


※ホルダーは、逆向きでも使用できます。



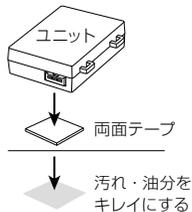
パネルなどに埋め込む場合

- 1** メーターの根元にクッションテープを巻く。
2 直径 52mm の穴に圧入状態で差し込む。

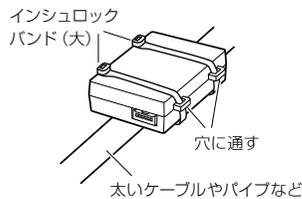


ユニットの固定

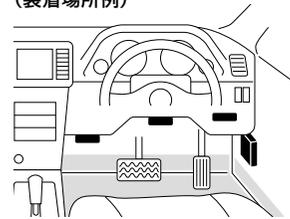
平面に固定する場合



ケーブルやパイプなどに固定する場合



(装着場所例)



図のような、水のかからない場所に固定してください。

基本操作方法

- 1** エンジンを始動する
- 2** オープニングデモ
- 3** 通常表示
- 4** エンジンを停止する
- 5** メーター OFF 針は最低値付近で止まります。

オープニングデモ

- エンジン始動時に針の位置を検出するため、最低値側の位置へ数回動き、その後最大値を指し、通常表示に移行します。
- 車輻側との通信の関係上、エンジン始動後オープニングデモまで数秒かかる場合があります。

表示部の消灯について

- 車輻側との通信の関係上、エンジン停止から表示がOFF(消灯)するまで最長1分かかりますが、正常な動作でクルマ側への負担は一切ありません。

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
エンジン始動で動作しない。	各コネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には不正競争防止法等の法的処置が近年厳しく適用される場合があります。
※PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。